

予防保全型の維持管理で橋梁が長持ち！

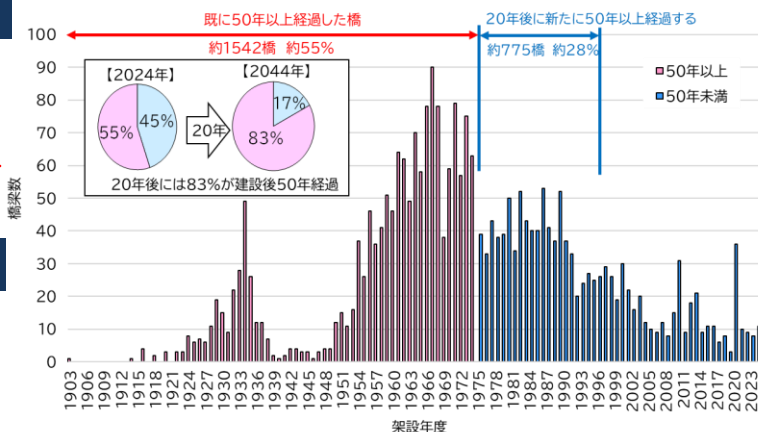
～老朽化対策により、社会経済活動の継続性を確保～

ぐんまの社会経済活動を支える

橋梁の長寿命化事業により、安全・安心な道路ネットワークを維持することで、ぐんまの社会経済活動を支えます。

老朽化対策の必要性

群馬県の管理する橋梁3,458橋うち、建設から50年以上経過した橋梁は、2024年時点で全体の55%をしめており、20年後の2044年には83%と**高齢化橋梁の割合が増加し、老朽化対策の必要性が高まっています。**



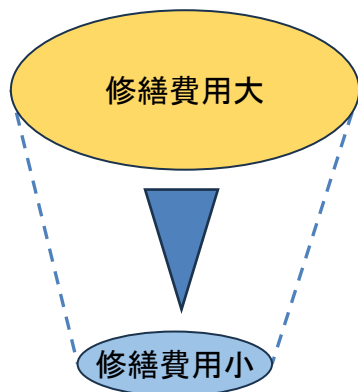
橋梁の長寿命化

計画的、効率的に橋梁の維持管理を行うため、「**橋梁長寿命化計画**」を平成22年度に策定し、**定期的な点検と計画的な修繕を行うことで長寿命化を推進しています。**

事後保全型の管理から予防保全型の管理へ

小規模な修繕を繰り返す「**予防保全型の管理**」により、**橋梁の長寿命化と維持管理費用の縮減**及び**予算の平準化**を図ります。

「事後保全型」
損傷が深刻化してからの大規模な修繕



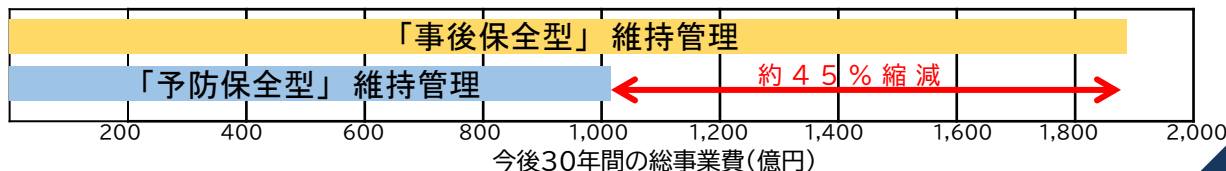
「予防保全型」
損傷が軽微なうちに修繕

床版修繕のイメージ



【効果】維持管理費用の縮減

「事後保全型の管理」から「予防保全型の管理」へ転換により、メンテナンスに係るトータルコストの中長期的な縮減を図り、県民の安全・安心な生活を守ります。



ストック効果